

病理総論 13 2004 年 2 月 2 日 (水) 担当：深山 (2 月 1 日，総論 12 に変更)

慢性炎症：リモデリング，化生を伴う炎症。

	間質性肺炎	慢性胃炎	慢性肝炎
原因	不明	ピロリ菌慢性感染症	B 型，C 型肝炎ウイルス
部位的特徴	胸膜下，下葉	全胃 A 型 (胃底腺領域)	肝全域
最終形態像	蜂窩肺，肺線維症	腺の萎縮，腸上皮化生	偽小葉
化生	扁平上皮化生 腺様化生	腸上皮	偽胆管
合併症	肺癌	胃癌 胃 MALToma	肝細胞癌

### 慢性炎症，感染症と発癌

A．慢性胃炎，腸上皮化生，ピロリ感染

胃癌

MALT (mucosa associated lymphoid tissue) 腫 - 動物実験・除菌による退縮

B．その他

熱傷瘢痕と扁平上皮癌

Sjogren 症候群，慢性甲状腺炎とリンパ腫

慢性膿胸とリンパ腫 (EBV)

肺線維症と肺癌：高度喫煙者，末梢発生の扁平上皮癌が多い傾向

潰瘍性大腸炎と大腸癌

痔瘻癌

C．ヒトの癌ウイルス

ウイルスが関与する癌は世界中の発癌の 15%

持続感染：発癌までの長い潜伏期，感染者の一部に発癌

1) パピローマウイルス (HPV)

2) Epstein-Barr ウイルス

3) HTLV1 (Human T-lymphotropic virus type I) 成人 T 細胞白血病の原因ウイルス

4) 肝炎ウイルス (B 型肝炎ウイルス，C 型肝炎ウイルス)

5) カポシ肉腫ウイルス